

ものづくり文化と最先端情報技術の連携

実施日：平成28年2月16日～2月20日 於：米国（シアトル・ボストン）

■ 派遣専門家



玉城絵美 工学博士
H2L株式会社チーフリサーチャー、
早稲田大学人間科学学術院助教

2006年、琉球大学卒業後、筑波大学、米国ディズニー研究所を経て、2011年に東京大学大学院博士課程終了。同年、東京大学総長賞を受賞。ポゼストハンドが米『TIME』誌の「世界の発明50」に選ばれる。2012年ベンチャー起業『H2L』を設立。2015年日経ウーマン「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」準大賞受賞。

■ 事業概要

● シアトル



DigPen Technology訪問



ワシントン大学での講演会

● ボストン



三菱電機研究所(MERL)でのデモ



マサチューセッツ州政府での講演会



マサチューセッツ工科大学での講演会



マサチューセッツ工科大学ゲームラボ訪問

■ 実施結果

ワシントン大学やマサチューセッツ工科大学のメディア・ゲーム工学研究者及び学生や、任天堂アメリカ社や三菱電機研究所の企業関係者、マサチューセッツ州政府関係者など幅広い層に向けて、日本のものづくり文化と最先端の情報技術とゲーム文化の連携について、触感型ゲームコントローラー「UnlimitedHand」の講演とデモンストレーション及び体験により紹介しました。各地の訪問先よりインターン希望、複数企業より技術の製品開発への応用希望や共同開発希望が寄せられるなど、交流の創設や販路開拓にも繋がる可能性のある成果が見られました。また、「North American Post」紙（シアトル）等現地メディアでも事業の様子が取り上げられました。